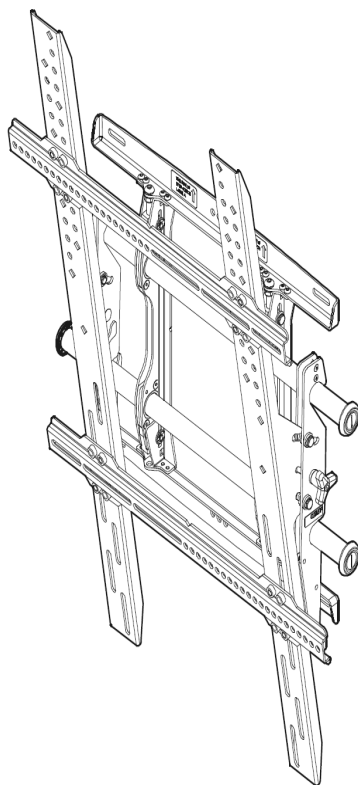


取扱説明書



FUSION縦設置ディスプレイ用壁掛けマウント 型番 LTMPU



LTMPU 本体

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を実際に取り付けてください。
- 天井の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

 **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

 **警告**：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

 **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

 **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

 **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

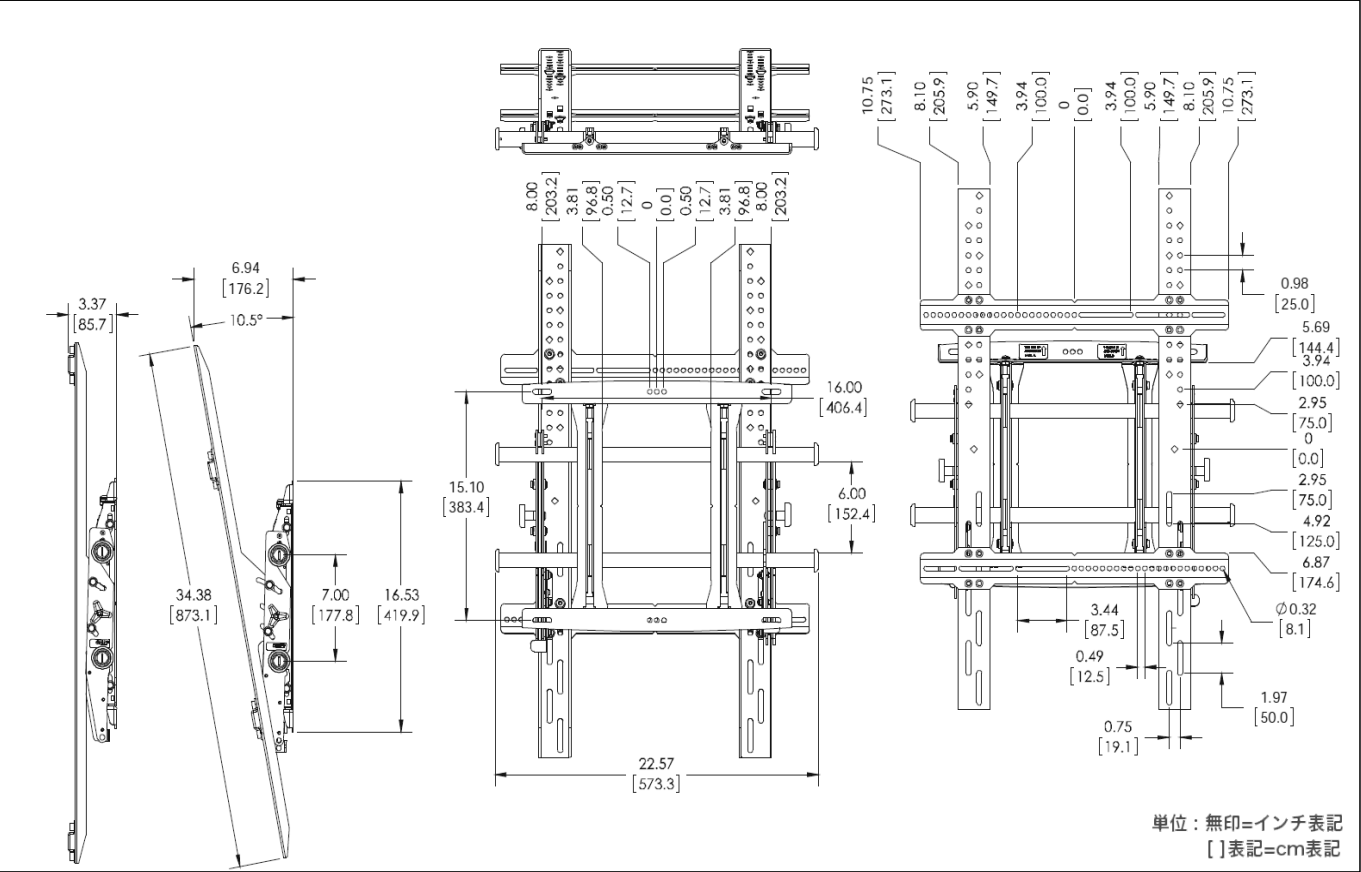
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

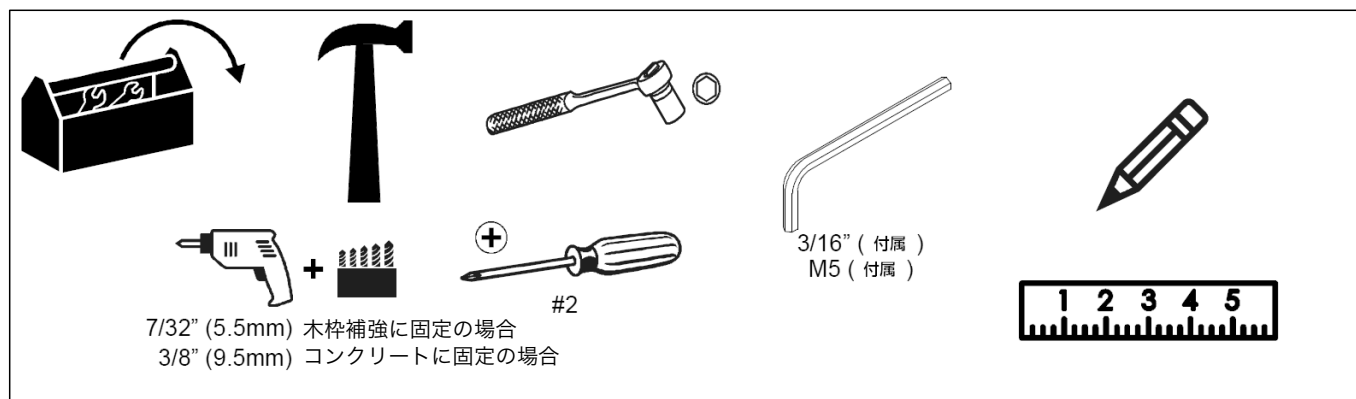
1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行なってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヶ所以上にバランスよく施工してください。

■各寸法図



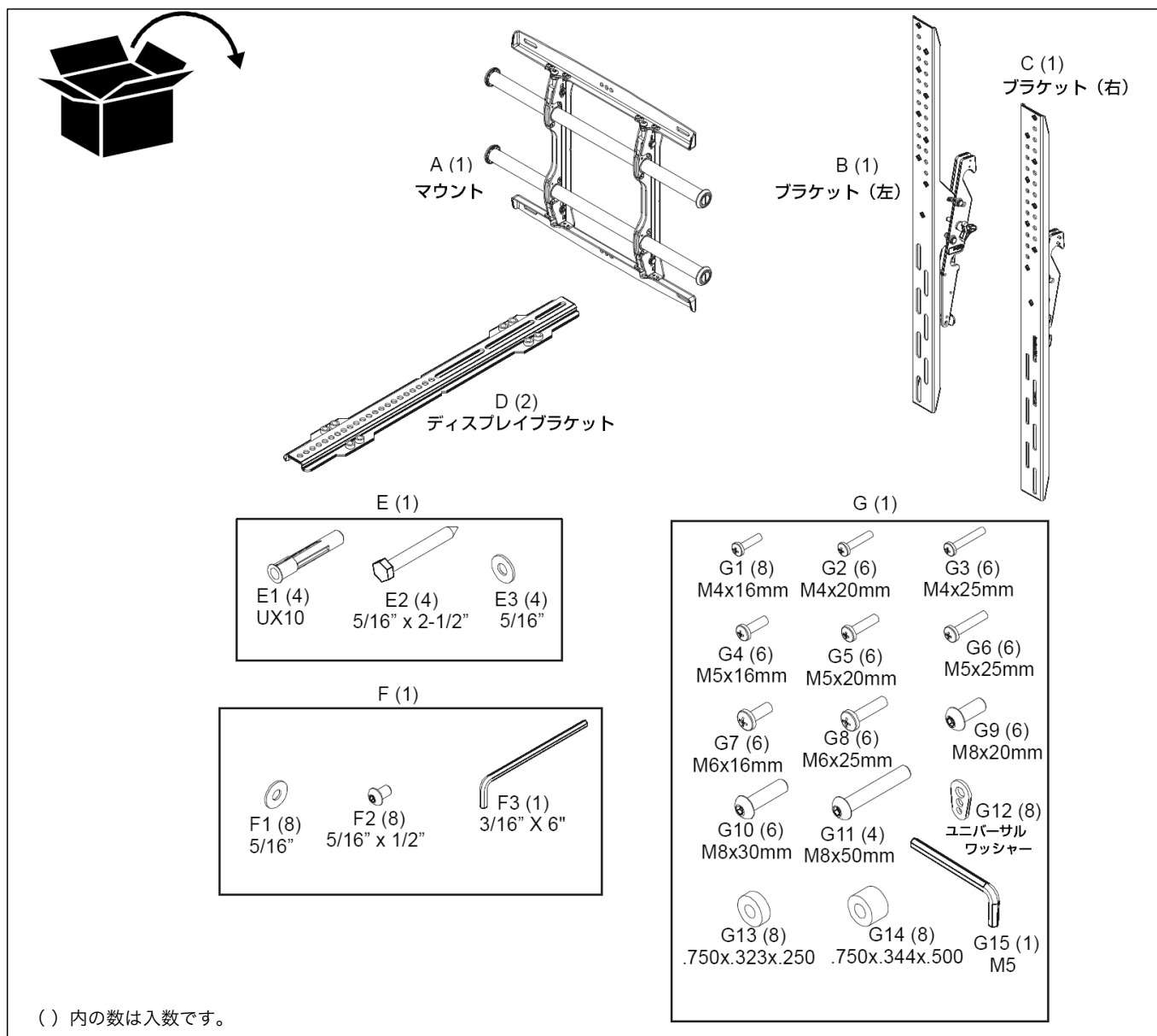
組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物

・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認をお願いします。

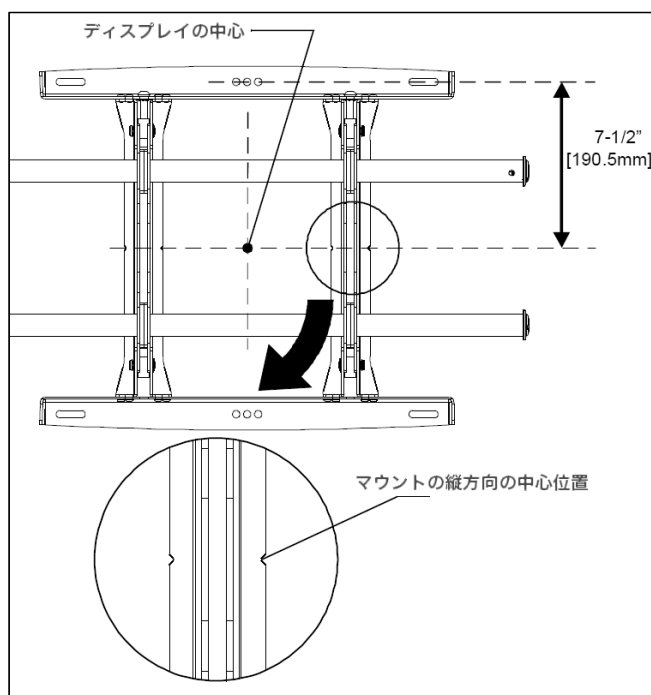


■マウント部の取付

警告！：誤った取付方法を行ないますとディスプレイや本体の落下事故につながり、怪我などの危険の原因になります。安全上の注意をよく読み取付を行ってください。

重要！：組立て前に必ず寸法表を確認してください。
取付けるディスプレイのサイズにより取付部品の場所などが変わる可能性があります。

メモ：施工業者の責任において、本製品と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられるように壁材の補強をしてください。
最大荷重量は、90.7kg(200lbs)です。



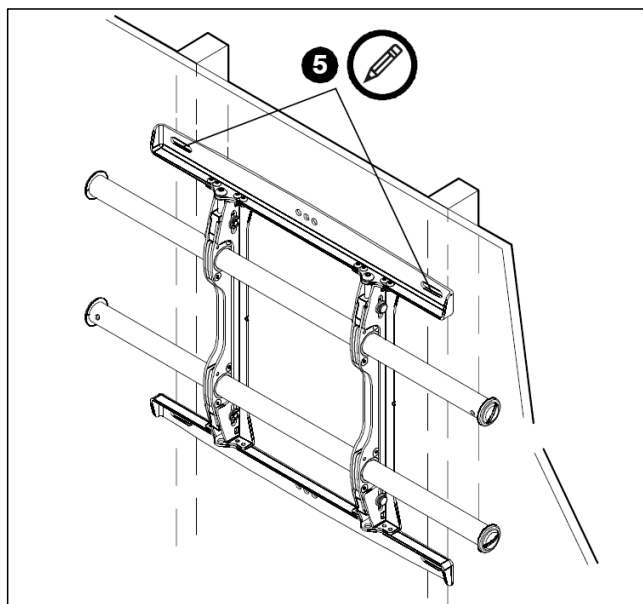
【図-1】

1. モニター画面の中心を決めます。
中心点が壁面のどの位置になるか決定します。
※壁面側に補強さんや間柱がある場合、
その位置によって高さを決めてください。

警告！：木枠の場合は2本以上の木枠で留めてください。
1本の木枠にマウントを留めないでください。

2. 一番適した場所の柱で左右位置を決めてください。
(木枠の場合)
3. 中心点とマウント本体切り込み位置(図-1)を合わせ、
垂直方向の中心を決めてください。
4. 壁面に固定するボルト位置から190.5mm(7.5インチ)
下げた位置がディスプレイの中心の目安となります。
中心位置にはフレーム部切り欠きがあります。

※ 壁面取付用アンカーやネジは適したタイプが付属されていない場合があります。
それぞれの壁に適切なアンカーやネジを選定の上、
壁用マウントを壁面にしっかり固定してください。

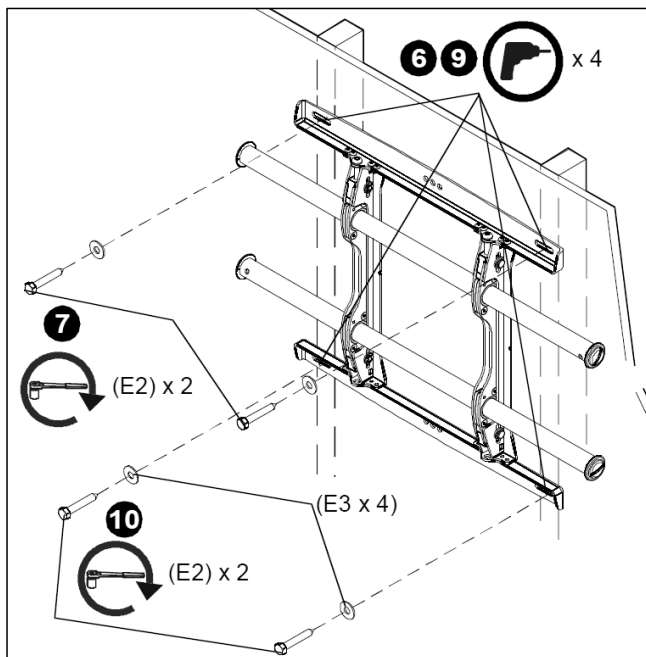


【図-2】

5. 水平器を使用し、上部のマウントスロットの位置を決め
【図-2】の⑤の位置に印をつけてください。

警告！：感電などの事故の原因となりますので、
ディスプレイ等の電源コードは必ず抜いて作業
を行ってください。

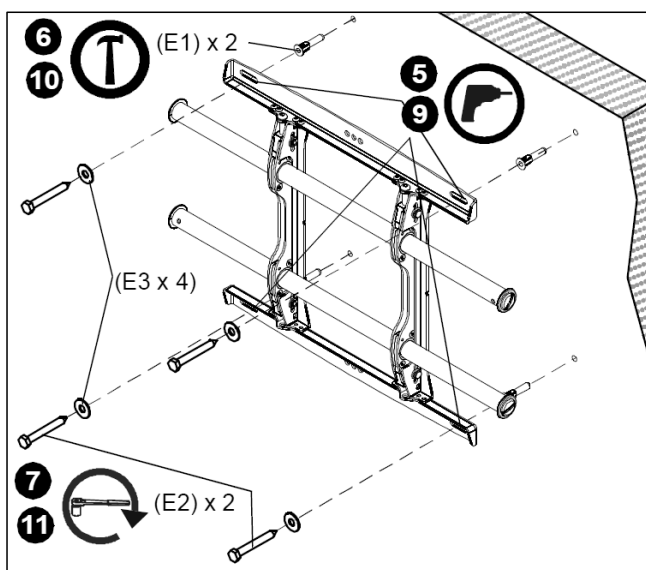
◆木枠/石膏ボードへのマウント取付



【図-3】 木枠/石膏ボード壁面取付例

6. 壁に固定するそれぞれのスタッド位置に5.5mmの下穴をあけ、ネジ穴にビス止めをします。
7. (E2)のボルト2本、(E3)のフラットワッシャー2本を使用し、マウントの上部を壁に取付けてください。
8. マウントの下部のビスを打ち込む位置を決め、印をつけてください。
9. ⑥、⑨ で印をつけた箇所にビス止めしてください。
10. (E2)のボルト2本、(E3)のフラットワッシャー2本を使用し、マウントの下部を壁に取付けてください。
11. ポールをスライドさせ、ディスプレイが中央に来るように調整してください。

◆コンクリートへのマウント取付

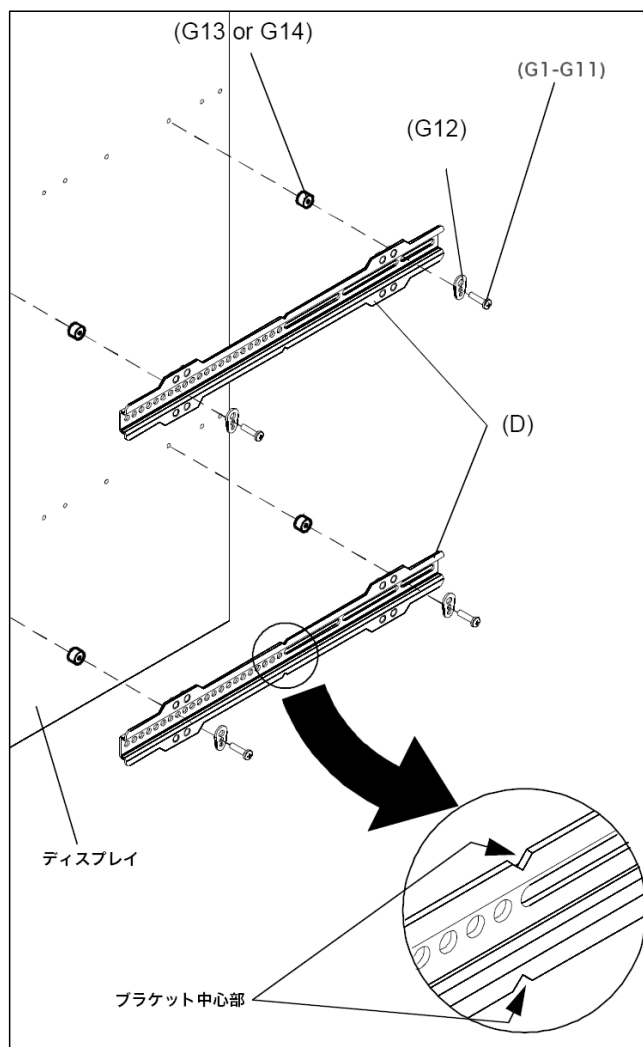


【図-4】 コンクリート壁面取付例

6. 【図-4】 のように印をつけた場所にドリルで9.5mmの下穴を開け、コンクリート粉をよく取り除いた後ハンマーで(E1)のアンカーを留めてください。
7. (E2)のボルト2本、(E3)のフラットワッシャー2本を使用し、マウントの上部を壁に取付けてください。
8. マウントの下部のビスを打ち込む位置を決め、印をつけてください。
9. 8で印をつけた箇所にドリルでビス止めする。
10. (E1)のアンカーで下部も固定してください。
11. (E2)のボルト2本、(E3)のフラットワッシャー2本を使用し、マウントの下部を壁に取付けてください。
12. ポールをスライドさせ、ディスプレイが中央に来るように調整してください。

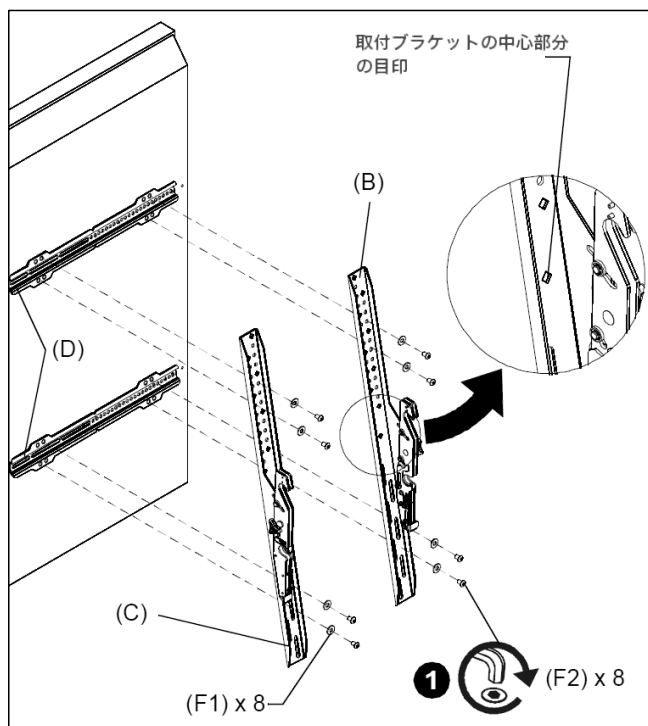
■ブラケット部へディスプレイの取付け

1. ディスプレイブラケット(D)をディスプレイの中心に水平に並べてください。



【図-5】

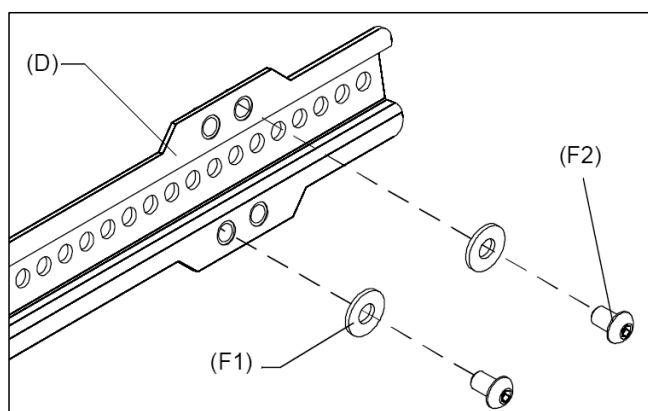
2. 背面のネジ穴にあったネジを選び、【図-5】 のようにディスプレイブラケットを取付ける。
(ディスプレイ背面に凹凸がある場合、適宜スペーサーも使用してください)



【図-6】

3. 背面ブラケット(B)(C)をディスプレイに垂直になるように 2.で取付けたブラケットの上に並べてください。
【図-6】 参照。
4. 背面ブラケット(B)(C)をディスプレイブラケット(D)に取付ける際、8本の(F2)ネジと8本の(F1)ネジを使用してください。

重要！：ブラケット(D)と(C)(B)を取付ける際、垂直にクロスする部分(計4箇所)の各2本のネジを対角に締めることで、より4本のブラケットがしっかりと固定されます。【図-7】



【図-7】

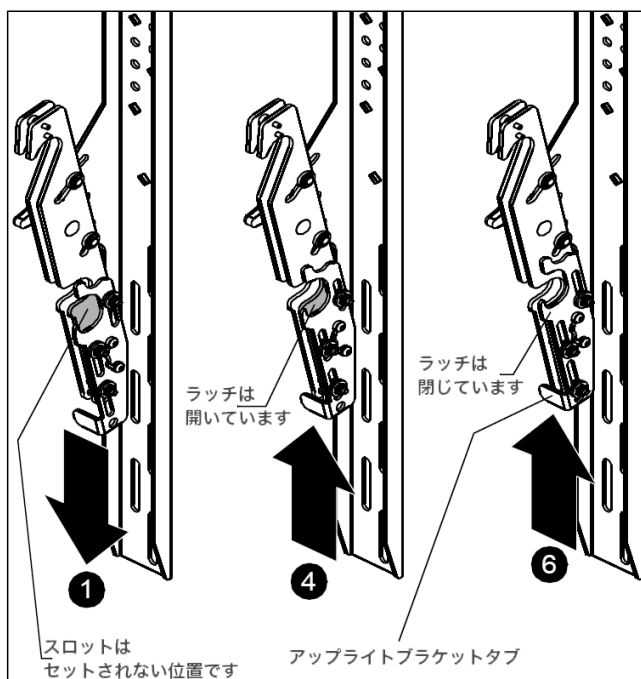
■ディスプレイをウォールマウントに取付ける

1. アップライトブラケットタブ部を一番下まで下げきります。スロット部【図-8】に下部ポールがセットされない位置になります。
2. ブラケット上部のフックをマウント側のバーに引っ掛けます。ディスプレイの下側は下部ポールから離れてディスプレイが斜めになった状態になります。
3. このディスプレイが少し傾斜している状態でディスプレイのケーブル類を整理します。

注意！：



指を挟まないよう注意してください。



【図-8】

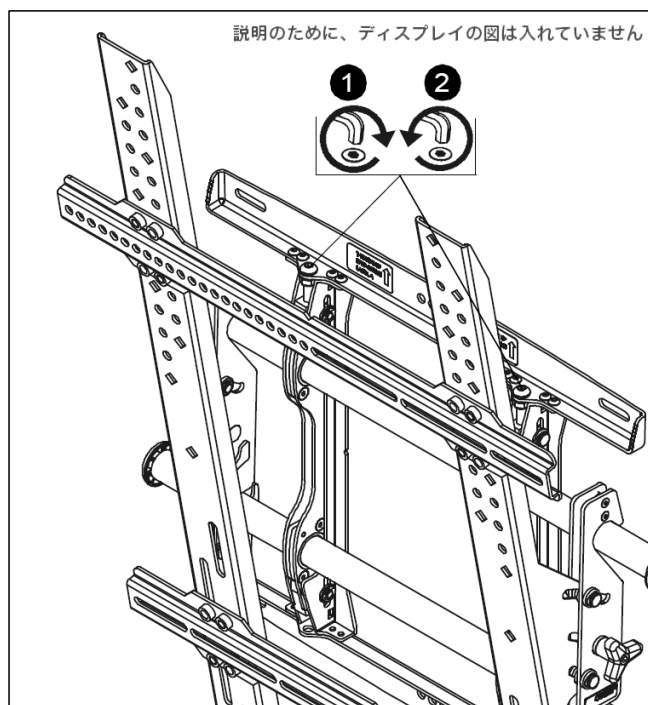
4. ディスプレイ下部を引き上げ【図-8】中央図のタブを指で軽く上に押して、④のラッチが開く方向に動かしてください。
この状態にしますと、下部ポールがスロットに入る状態になります。
5. 次にディスプレイを壁マウント側に戻る方向にゆっくり離していくと、ブラケットはマウント下部のバーに差し込まれます。
このとき、スロットに下部ポールがはまり込んでいることを確認してください。
6. ブラケットタブを引き上げ、ブラケットがマウント側に固定され、正しく設置されたか確認してください。

■高さ調整

メモ：高さ調整範囲は、約 $\pm 12.7\text{mm}$ です。

1. 【図-9】のように(F3)六角レンチ（3/16"）で右に回すと高さが上がります。
2. 同じように左に回すと下がります。

この2箇所の調整でディスプレイの水平バランスと、高さの微調整を行ってください。

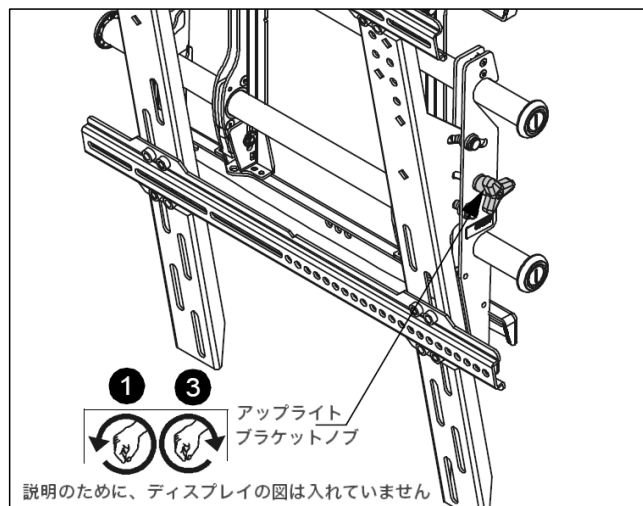


【図-9】

■傾斜調整

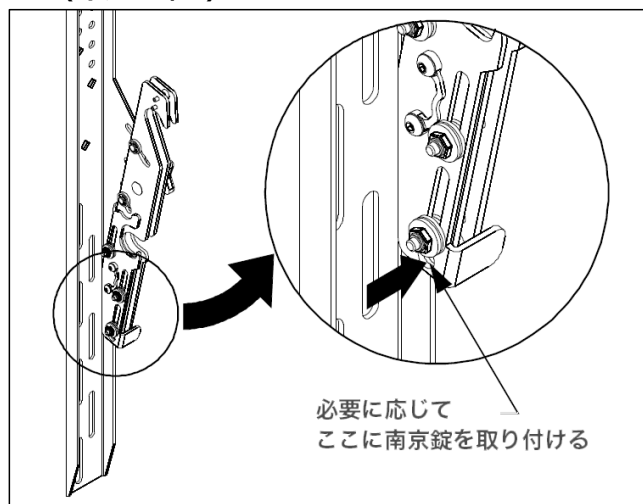
注意！：ディスプレイが倒れるなど事故の原因となる可能性がありますので、必ずディスプレイ本体を支えながら傾斜調整を行なってください。

1. 【図-10】のようにブラケットのノブを緩めます。
2. 角度を調整してください。
3. 角度が決まったところでノブをきつく締め、傾斜角度が動かないようにしてください。



【図-10】

■ブラケットをマウントから外れないようにする（オプション）



【図-11】

【図-11】のように市販の南京錠を取付けることにより、ブラケットをマウントから外れないようにすることができます。